

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- ①一括質問一括答弁方式
- ②一問一答方式

質問件名 農福連携でみんなが元気になろう

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

国では、厚生労働省と農林水産省が農業分野での障がい者就労をすすめようと、農業と福祉の連携が取り組まれています。農林水産省の「農福連携推進フォーラム」の開催、厚生労働省・農林水産省主催の「農福連携マルシェ」、厚生労働省の「農福連携による障害者の就農促進事業」など、農福連携は本格化しています。東京の市街化区域内農地では、これまで実施は困難とされてきましたが、2018年度東京都予算で、農地を買い取り、モデル農園として活用する「東京の将来に向けた農地活用事業」が提案されています。高齢化の進む農業分野においては、元気な高齢者や、障がい者の参入によって労働人口が増え、生産力の上昇が期待できます。また、福祉分野においては、障害者の働く場所の選択肢が増えるというメリットや、自然と接することによる健康状態、精神状態へのよい影響も期待できます。

今年3月に策定された小平市農業振興基本計画の基礎調査による農家調査の結果分析では、後継者の決まっていない農家が多いこと、安全な農作物のための手間や費用がかかること、農産物の販売を通じて市民との交流を望んでいることなどが明らかになりました。そこで市の新たな取り組みとして、以下質問します。

1. 小平の農業の現状について、農業経営体数の変化と耕地面積の傾向を示してください。
2. 農作業を福祉団体に受託している農家や、社会適応訓練事業に対応している農家は何件あるか、現況と今後の可能性について伺います。
3. 小平の農業を発展させていくために福祉との連携をどのようにすすめるか、見解をお訊ねします。
4. 東京都が始める「シニア向けセミナー農園整備事業」は、農地として維持していきながら高齢者層の活躍をあわせてすすめる、イベントや学童農園と併設するなど交流の場をつくることにもつながります。「こだいらセミナー農園」の開設を検討できないか、見解を伺います。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

平成30年8月27日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 平野 ひろみ

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)